

令和5年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立木本小学校

作成日

令和 6年 3月 8日

1 教育目標

心身ともにたくましく、豊かな人間性を身につけ、自ら学ぶ子を育てる。

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> 校内学力調査で基本問題の正答率 80% 児童の意欲を引き出す指導の工夫をしている(教師100%) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校が楽しいと感じる(児童90%以上) 「私たちの道徳」「心のとびら」の活用100% いじめの解消率100% 	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣点検にて、朝食の摂取率100%、メディア視聴時間が2時間以下の割合が90%以上。 食への関心を、高めるための指導行う(教師100%) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の様子がよく伝わった(保護者60%)
重点目標に対する	<ul style="list-style-type: none"> どれも大事なことなので、引き続き取り組んでいくことが大事である。 基礎基本を大切にしていくことはたいへん重要である。 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな人権問題に取り組んでいく必要がある。 学校が楽しくなり、いじめが減少していくこと、いじめの早期発見に努めることは大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> スマホ等の使用時間が長時間に渡っていることが気になる。家庭のルール等学校から啓発していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭との連携はよくとれていることが分かった。地域との連携についても引き続き充実させていきたい。今年度は8月に木本夏祭りを行うなどコロナ禍後の連携を模索できた年となった。
取組状況に対する	<ul style="list-style-type: none"> 学級で分からない子を網羅してしっかりと補充している。少数者を大事にしながらいるんなタイプの子に対応する学習のあり方をこれからも考えていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケートにより、いじめの早期発見や早期解決ができていたので、重大事案に発展しないのはいいことである。 心が育つことで、学力も上がっていくから、心の育成が大事である。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝食の接種率については、96%以上がとっており数値的にはすごいことではあるが、残りの4%の子をどうしていくかを考える必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍後となり、今年度も1年生の昔の遊びなど交流ができたのはよかった。 子どもたちの健全育成のために、地域でのかかわりや見守りが必要である。
取組の適切さの検証結果	<ul style="list-style-type: none"> 行事を通して培われる力も大事である。 これからも、理解不足の子どもや学習意欲をなくしている子どもへの働きかけは必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> いじめの取り組みが分からない保護者が20%弱ある。保護者への連絡が必要がある。 アンケートから、学校が楽しいという数値が高いので今の取り組みを続けることが大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練は、継続的に実施していく必要がある。避難訓練などこれからも定期的に行ってほしい。 自転車の乗り方、交通安全の話聞いてもすぐに忘れる⇒常々の子どもへの働きかけは必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶ができる児童が大変多い。また、守り隊の方に自分から話しかけたり、感謝の気持ちを伝えたりする児童もいて、地域ともつながりができている。
改善年度に向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> 学力充実は大事であるが、基本的な生活習慣の確立や人権教育にも引き続き取り組んでいくことが大事なのではないか。 「授業がわかる」と回答できる子どもをさらに増やすために、自分の考えを発表できる子を増やすことが大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 登下校の守りたい活動をしていると、子どもたちとはしっかり挨拶をしていくので、学校でも引き続き取り組んでいってほしい。 社会人になった時にも大事なことであるが、二次性徴の時でもあり、その特性も踏まえて指導をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> スマホ等、メディア活用については、外部講師等呼んで啓発したとのことだった。来年度以降も同様に行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 育友会行事に自治会も協力できるものがあるのではないかと。また来年度も木本夏祭りを行う予定なので協力をお願いしたい。 図書ボランティアをさらに充実させていく。

3 その他のご意見

- 「学校が楽しい(児童)」が94%、「毎日楽しそうに学校に通っている(保護者)」が87%とどちらも高い数値であることはよかった。
- メディア活用や寝る時間など学校でできないこともあるので、家庭との連携協力が必要である。
- 水曜日の午後に移動市民図書館が来ているので読書促進にもっと活用してほしい。